

## 抗原ペプチドによる抗体吸収試験

### ペプチドによる吸収法

- (1) 抗体希釈バッファー (1 % BSA in PBS) へ抗体溶液とペプチド溶液を、  
抗体:ペプチド=1 mol: 20 mol になるように加えます。  
ペプチド溶液の代わりに精製水を加えたもの(ペプチド(-))をコントロールとします。
- (2) 4 °C で一晩転倒混和し十分に反応させます。この時、ペプチド(-) も同時におこないます。
- (3) 上記の吸収処理を終えたものを WB または免疫染色の一次抗体として使用します。

### 【計算例】

弊社では抗体の分子量を約150,000として計算しています

抗体 Code No.18415 Anti-Human VEGF-C (103) Rabbit IgG の場合  
 吸収用ペプチド Code No.18417 Human VEGF-C (103) Antigen Peptides 分子量 1,827  
 重量比率は

抗体: ペプチド = 1 mol: 20 mol = 150,000: 1,827 × 20 = **1g: 0.24 g** となります。

仮に

抗体溶液濃度: 100 µg/mL

ペプチド溶液濃度: 100 µg/mL

を用いて、抗体終濃度 5 µg/mL の溶液を 1 mL 調製する場合は

	抗体溶液	ペプチド溶液	1 % BSA in PBS
ペプチド(+)	50 µL	12 µL	938 µL
ペプチド(-)	50 µL	—	950 µL

の混合比率となります

↓

4 °C、一晩、転倒混和

↓

WB または免疫染色に使用します。